

令和元年度第1回仙台市地域保健・保健所運営協議会 議事録

開催日時	令和元年6月5日(水) 15:00～
開催場所	市役所本庁舎2階 第一委員会室
委員 (順不同・敬称略)	寶澤篤(委員長) 青沼清一 赤坂和昭 安齋由貴子 猪股佳子 及川敦子 小田島久美子 片倉成子 北村哲治 駒形守俊 橋本実 長谷敦子 保角博行
事務局	健康福祉局 局長 次長 次長兼保健所長 障害福祉部長 保険高齢部長 保健衛生部長 総務課長 障害企画課長 障害者支援課長 高齢企画課長 地域包括ケア推進課長 認知症対策担当課長 保険年金課長 介護保険課長 介護事業支援課長 保健衛生部主幹 保健管理課長 健康政策課長 医療政策担当課長 健康安全課長 生活衛生課長 参事兼微生物課長 子供未来局 局長 子供育成部長 参事兼総務課長 子供保健福祉課長 青葉区保健福祉センター所長 宮城野区保健福祉センター所長 若林区保健福祉センター所長 太白区保健福祉センター所長 泉区保健福祉センター所長 教育局 健康教育課長
次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 職員紹介 4. 議事 (1) 令和元年度健康福祉局・子供未来局の主要事業等について (2) 「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」に基づく事業について (3) 受動喫煙ガイドラインの改正について (4) 令和元年度食品の安全性確保対策について (5) その他 5. 閉会

発言者等	
〈開会〉 進行	令和元年度第1回仙台市地域保健・保健所運営協議会を開催します。 初めに、本協議会の開催に当たりまして、健康福祉局長の船山及び子供未来局長の岡崎よりご挨拶申し上げます。
健康福祉局長	委員の皆様方には、ご多忙の折にもかかわらず、地域保健・保健所運営協議会にお集まりいただきまして本当にありがとうございます。 本市におきましては、「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」を策定し、2年目を迎えております。市民の皆様の健康寿命の延伸を目指し、他局との連携も図りながら、重点分野ごとに実践的な取り組みを進めております。また、保健所を中心とする健康危機管理についても、市民の皆様の安全安心のため、各区保健福祉センターと一体となり、本市としてより迅速かつ的確な対応に努めてまいり所存でございます。 今後とも私どもといたしましては、委員の皆様方から忌憚のないご意見、ご提言をいただき、各般の施策を着実に推進してまいりたいと思っておりますので、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、私のご挨拶といたします。よろしくお願ひいたします。
子供未来局長	委員の皆様方には、本市の児童福祉及び母子保健行政について、日頃よりご指導、ご協力を賜っておりますことに感謝を申し上げます。 さて、子育てをめぐる環境でございますが、核家族化や地域のつながりの希薄化等を背景に、子育てに対する不安や負担感が増してきていることから、子育て支援策のさらなる充実が求められているものと認識しております。こうした中、昨年度は、妊娠期から出産、子育て期にわたる、切れ目のない支援の一環として産婦健康診査への費用助成や産後ケア事業を新たに実施し、産後間もない時期の子育て家庭へのサポート体制の強化に取り組んでまいりました。また、この4月には不妊・不育専門相談センターを宮城県と共同で設置し、妊娠前の相談体制の充実を図ったところでございます。 児童虐待も大きな問題となっておりますが、本市のさまざまな取り組みの中で、特に母子保健におきましては、新生児全家庭訪問や乳幼児健診未受診者対策等、さまざまな機会を捉え、要支援家庭の早期発見に努め、関係機関との連携により支援の充実を図っているところです。 このような子育て家庭のさまざまな課題に対応していくためには、医療、福祉、教育など、子供にかかわる分野の方々との連携をこれまで以上に努めていくことが肝要でございます。そのためにも、皆様方のご意見を頂戴しながら各種の施策を展開し、安心して子育てができ、子供たちが健やかに成長できるよう取り組んでまいりたいと考えております。 本日はどうぞよろしくお願ひいたします。
進行	次に、寶澤委員長よりご挨拶をいただきたいと存じます。
〈挨拶〉 寶澤委員長	出席の先生方におきましては、それぞれのお立場と地域保健の推進と公衆衛生の普及向上にご尽力されていることに敬意を表します。

	<p>市民の健康や生活の安全安心を守るために、健康を守っていくということが非常に重要であって、それは一人一人の努力というよりは地域保健全体でカバーしていくのがすごく大事ですので、地域保健活動の推進や公衆衛生活動を続けていくことが非常に重要だと思っています。</p> <p>その1つの指針といたしますか、「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」がございますが、2年目を迎えます、ご報告いただく市当局も含め、各皆様の努力と、ここにお集まりの先生方のそれぞれの担当で、それぞれの立場から健康づくりの取り組みを進めていただいて、仙台市の健康が守られているのだと思っております。</p> <p>今回の議題は、令和元年度の健康福祉局、子供未来局の主要事業の概要説明、また、第2期いきいき市民健康プラン後期計画に基づく事業、受動喫煙対策、令和元年度食品の安全性確保対策についてご説明いただくことになっております。</p> <p>第2期いきいき市民健康プラン後期計画ですが、6つの重点分野と新たに社会環境の改善・整備を位置づけており、この社会環境の改善・整備非常に重要なものと認識されているようです。</p> <p>今日事前に送られた資料を見ると、周りの部局からの報告が今回資料の中に入っており、そういったことから前進しているとお伺いしておりますので、私も楽しみにしております。</p> <p>今回の議事を通しまして、仙台市の地域保健、そして保健所の取り組みに貢献できるように、委員の皆様方の意見を集約していきたいと思っておりますので、毎回言っていることではございますが、ぜひご活発にご意見をいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
進行	<p>本日の協議会の成立についてお知らせいたします。</p> <p>半数以上の委員にご出席いただいております、仙台市地域保健・保健所運営協議会条例第5条の規定により、本協議会は成立しております。</p> <p>これからの議事進行を、委員長にお願いしたいと思います。</p>
〈議事〉 寶澤委員長	<p>まず、議事録署名人について、私から指名したいと思います。今回、議事録署名人は、橋本先生お願い申し上げます。</p> <p>まず、議事の(1)令和元年度健康福祉局・子供未来局の主要事業等についてです。事務局からご説明お願いいたします。</p>
健康福祉局 総務課長	<p>資料1に基づきまして、令和元年度健康福祉局の組織と予算、主要事業についてご説明申し上げます。</p> <p>1ページ目が健康福祉局の組織となっております。令和元年度の改正は、一番上の地域福祉部の社会課ですが、今年度被災者生活支援室を廃止し、この社会課に被災者支援に係る事業の業務を移管しており、この表に記載していませんが、被災者支援担当課長を配置しております。</p> <p>また、上から4つ目の保健衛生部におきまして、健康増進法の改正法に伴い、受動喫煙対策に係る周知啓発、指導等の業務執行体制を整えるため、健康政策課に管理係を新たに設置しております。</p>

3 ページ、区役所の組織をご覧ください。青葉区を例にご説明いたしますと、保健福祉センターのうち、障害高齢課の業務を分割し、介護保健課を新設しております。また、地域の視点を重視した障害者、高齢者への一体的な支援を進めますため、障害高齢課の3つ目の係、地域支援係を新たに設置しております。

ページ中ほど宮城総合支所ですが、保健福祉課が、昨年度までの3係体制から高齢者支援係、障害者支援係を分け4係体制としております。

6 ページ、令和元年度健康福祉関係の予算のページをご覧ください。こちら本年度一般会計の健康福祉費でございますが、表の中ほど、令和元年度の一番上の欄をご覧くださいますと、総額が2,000億円余となっており、前年度比で4.3%の増加となっております。

その下、円グラフは、仙台市全体の一般会計予算の内訳となっており、健康福祉費が36%と最も多くの割合を占めております。

その隣のページの上のグラフですが、健康福祉費の中でもそれぞれの費目の内訳です。円の外側が歳出に占めるそれぞれの割合で、円の内側の網かけの部分等が国や県から入ってくる補助金等、また一般財源等の財源の割合になっており、おおよそ半々となっております。

8 ページから本年度の健康福祉局の主要事業ですが、時間も限られておりますので、新規事業等を中心に概略をご説明いたします。

初めに、ページの一番上の1、地域福祉の推進でございますが、主に仙台市地域保健福祉計画に基づき、住みなれた地域で自立し、充実した生活を送れる地域社会の実現に向けて各種施策を推進しております。

ページの下、2、障害者保健福祉の推進ですが、こちらは仙台市障害者保健福祉計画に基づき施策を推進しており、9ページの(2)の⑩、⑪が新規事業で、こちらは発達に不安を抱える未就学児や保護者の支援のために、児童発達支援センターの機能を強化しまして、ペアレント・プログラムを活用した啓発や相談を行うほか、保育所や幼稚園とセンターとの併行通園を行うモデル事業を実施するところでございます。

続きまして、11ページからが、3、高齢者保健福祉の推進となっております。こちらは、高齢者保健福祉推進計画や介護保険事業計画に基づきまして、各種施策を実施しております。

13 ページ、4、介護サービス基盤整備促進でございますが、今年度も特別養護老人ホームを初めとしまして、各種サービスの基盤について計画的に整備を進めることとしております。

その下の5、介護予防・日常生活支援総合事業では、引き続き要支援の方に対する訪問型、通所型サービス事業を提供しますほか、一般介護予防事業としまして、65歳以上の全ての高齢者の方を対象に、介護予防活動の普及啓発や地域での取り組みの支援を進めてまいります。

6の市民健康づくり推進と7の感染症対策については、この後、第2期いきいき市民健康プラン後期計画の中で担当課長よりご説明します。

	<p>以上、健康福祉局の組織と主要事業の説明は以上です。これらの事業の推進について、委員の皆様との連携が不可欠でございます。引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます、説明を終わります。</p>
<p>子供未来局 参事兼総務課 長</p>	<p>子供未来局の説明をいたします。資料1の2ページが子供未来局の組織で、今年度は大きな組織改正はございません。各区の保健福祉センターと連携しながら、さまざまな子育て関係の施策を進めてまいります。</p> <p>6ページ、予算の関係です。上の表の中ほど、児童保健福祉費、今年度850億円余の予算で、前年度と比較いたしまして72億円の増と大きく伸びております。これは、保育施設の整備、それから、後ほど触れますが、今年10月から幼児教育・保育の無償化という制度が全国的に始まります。それに要する経費が大宗を占めるものでございます。</p> <p>17ページからが子供未来局の本年度の主な事業の一覧でございます。ここでは主なものをご紹介します。</p> <p>(1) 子どもが明るく元気に育つ環境づくりということで、①の児童館の整備、放課後子ども総合プラン、これは放課後児童クラブ等に要する事業ですが、小学校1年生から今年4月には6年生まで、要するに全学年の受け入れを実施しております。年々登録児童が伸びており、今年4月の段階で全市的に1万2,000人を超える登録児童がございました。そういったお子さんを受け入れる児童館だけでなく、サテライト施設の整備も計画的に進めているところでございます。</p> <p>③の児童虐待防止対策はご承知のように全国的に児童虐待の問題が報道等できわめております。仙台市も、児童虐待に係る相談、通告件数は年々増えております。それで、国で旗振りをいたしまして、児童虐待防止に係る児童相談所の体制強化も含めて国も新たな法改正、そういった動きに沿いながら、仙台市でも児童相談所の体制強化、あるいは関係機関のネットワークを進めていく考えでございます。</p> <p>(2) 安心して子育てができる社会づくり、①の保育基盤等の整備、これは待機児童、仙台市まだ発生している状況となります。今年4月1日時点で、仙台市の待機児童121名、昨年と比較しまして若干減っておりますが、待機児童がいる状況の中で今後とも計画的に保育基盤の整備を進めてまいりたいと思っております。</p> <p>18ページ、⑦母子保健の充実、これは妊娠期から出産、子育て期に至るまでの切れ目ない支援の充実で、力を入れておりますのが、産前産後のケアのサポート対策を強化していく新規事業を実施しており、産婦健康診査、これは産後間もない2週間とか、1カ月、そういった節目の産婦健診の費用を助成する事業を今年1月から新規で始めています。</p> <p>それから、産後ケア事業、産婦健診等で課題が見つかった、支援を要する母子のサポート、これは医療機関、あるいは助産施設で宿泊型、あるいはデイサービス型でそういったサービスを提供するという事業も今年1月からスタートさせております。</p>

	<p>今年度新規の事業といたしまして、不妊・不育専門相談センターの設置や運営に要する経費も予算化しています。</p> <p>こちら 18 ページの一番下、先ほど触れました幼児教育の無償化、これは全国的に 10 月からスタートということで、0 歳から 2 歳までの住民税非課税世帯の子どもと、それから 3 歳から 5 歳までの全てのお子さんの幼稚園、保育所等の利用料を無償化する。それから、この無償化の制度設計の中では、認可外の施設についても当面無償化の対象に含めると、そういった制度設計されており、制度の周知が、国の詳細がまだ示されていない部分もあり、いずれ市民の皆様には混乱を与えないように広報啓発に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>19 ページ。いじめの防止対策、これも全市的な課題になっており、今年の 4 月 1 日施行でいじめの防止に関連する条例を施行しております。この条例も含めて、いじめ防止対策に関する広報啓発を全市的に進めていく事業も子供未来局で所管しております。説明は以上でございます。</p>
<p>寶澤委員長</p>	<p>ただいまの令和元年度健康福祉局・子供未来局の主要事業について、ご意見やご質問ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、次の議事に移ります。</p> <p>議事の（２）「第２期いきいき市民健康プラン後期計画」に基づく事業についてです。</p> <p>市や関係団体の皆様にはそれぞれの立場でプランに基づき、さまざまな取り組みを進めているところかと思えます。これまでの実績を踏まえながら、今年度どのような事業に取り組んでいくかということについてそれぞれご報告をいただき、意見交換を行いたいと思えます。</p> <p>仙台市の取り組みについて、事務局よりご説明お願いいたします。</p>
<p>健康福祉局 健康政策課長</p>	<p>資料 2 をご覧ください。第 2 期いきいき市民健康プラン後期計画における仙台市全体の取り組み概要について簡単にご説明をいたします。</p> <p>第 2 期いきいき市民健康プラン後期計画は、2 年目となりまして、引き続き、市民の健康的な生活習慣の確立と社会的な支援を推進するために、ページ下の基本目標、「みんなでのばす健康寿命～つながる、広がる、健康づくりの輪～」の実現に向けまして、3 つの重点分野とそれを支える社会環境の改善・整備に努めてまいります。</p> <p>2 ページ。令和元年度の取り組みについては、あらゆる機会を捉えて市民の健康づくりの実践に向けた重点分野の普及啓発を行うとともに、社会環境の改善・整備を図るために関係部局との横断的な取り組みや民間企業等との連携による健康づくりを進めてまいります。</p> <p>3 ページ。重点分野 1、未来の健康をつくる生活習慣病予防です。</p> <p>推進の方策 1、生活習慣病予防についての市民や関係団体への周知啓発ですが、昨年度に引き続き、本年 11 月に本協議会の委員長である寶澤先生のご協力をいただき、「いきいき市民健康フォーラム」を開催いたします。昨年度の実施内容は、公衆衛生情報みやぎへの掲載文を本日</p>

机上配付させていただいておりますので、後ほどご高覧いただければと存じます。また、今年度のフォーラムについても、皆様にご連絡いたしますので、ぜひご参加いただきたいと思います。

推進の方策2、学齢期からの生活習慣病予防、健康的な生活習慣を形成するための啓発です。実は、先ほどお話しいたしました昨年度のいきいき市民健康フォーラムに参加しました小学校の校長先生からお声がけがありまして、本日当課の職員が小学校の保健教育研究部会に出席いたしましたして、生活習慣病予防についての講演を行っております。今後、学校との連携を通じてさらなる推進を図ってまいりたいと思います。

4ページ。推進の方策3、健康受診率向上を図るための啓発です。今年度から新たに胃がん検診に胃内視鏡検査を導入し、市民の方々が受診しやすい体制を整えるとともに、検診受診の普及啓発を図ります。

推進の方策5、歩きやすい、運動しやすい環境づくりでは、市民の方々が楽しみながら歩く習慣をつくるために、「みやぎウォーキングアプリ」の周知を行います。

4ページの下、重点分野2、気づく、つながる、支える心の健康づくりですが、推進の方策1、5ページにあります。地域の中で相談できる窓口を広く周知し、利用を啓発することについて、SNSを活用した相談窓口の設置やメンタルチェックシステム「こころの体温計」による心の健康セルフケアや相談窓口を周知してまいります。

3の震災後の心のケアに関する啓発と被災者支援です。震災後の心身の体調管理やストレスについて、戸別訪問や宮城県と共同で実施する健康調査を通して状況を把握し、必要に応じて支援を行います。

重点分野3、健康な心と身体を支える食生活、推進の方策の1から3における、6ページになります。乳児から学童、生徒の健康的な食生活については、保育所、学校、児童館など、子育て支援施設と連携し、子どもと保護者に向けて母子保健事業などあらゆる機会を捉えて、望ましい食生活について啓発を強化いたします。

4、教育機関、事業者等との連携による若い世代に向けた今後の健康づくりを見据えた食生活についての啓発強化では、昨年度に引き続き、大学生との協働により、大学の食育サークル、食教育ゼミなどの学生を対象としたワークショップを実施し、青年期の食への関心を高めるための啓発方法について検討いたします。

7ページの重点分野4、生きる力を支える歯と口の健康づくりでございます。歯科保健に関する後期計画アクションプランに基づきまして、ライフステージごとに取り組んでいきます。

1の乳歯萌出期からの虫歯予防対策、「3歳児カリエスフリー85プロジェクト」の充実・強化では、平成30年度実施の「乳児健康診査登録医療機関調査」、「協力歯科医療機関調査」、「幼児に関する歯科保健行動調査」の結果などから取り組みの評価、課題などを各推進主体と共有し、

	<p>今後の効果的な展開につなげてまいります。</p> <p>2の永久歯むし歯予防対策の環境整備の推進では、保育教育施設において4歳児からの開始を促進し、効果的なフッ化物洗口の実施を支援することで、子供のむし歯の地域差、個人差の解消を図ります。</p> <p>3、青年期からの歯周病予防に向けたセルフケア能力向上支援と専門家によるケアの強化といたしまして、20歳のデンタルケア事業の未受診者対策を実施いたします。</p> <p>8ページ。重点分野5、大切な人の健康を守るたばこ対策の推進、健康増進法の一部を改正する法律の全面施行に向けて、受動喫煙防止対策のさらなる推進を図り、事業所などに対する啓発を強化いたします。</p> <p>なお、受動喫煙防止対策については、別途議題としております。</p>
健康安全課長	<p>保健所、健康安全課の松田と申します。</p> <p>重点分野6、日頃から一人ひとりに取り組む感染症予防について、説明いたします。</p> <p>取り組みの方向性ですが、引き続き感染症に関する正しい知識の普及・啓発に努めること、定期予防接種の接種勧奨に取り組むこと、エイズ、性感染症、ウイルス性肝炎について無料検査を実施し、早期発見に努めることを掲げております。</p> <p>推進の方策ですが、感染症に関する正しい知識の普及・啓発とタイムリーな感染症流行情報の提供については、仙台市感染症メディカル・ネットワーク会議において、最新の感染症の流行状況などについて情報を共有するとともに、対策について協議を行うこととしております。また、蚊媒介感染症に関して生息状況調査を行いながら、予防法や対策方法の情報提供を行うこと、インフルエンザ予防ポスターを作成し、医療機関等に配布をすること、そのほか、高齢者施設を対象に結核の早期発見、発症予防のための啓発を実施することとしております。</p> <p>2の予防接種事業は、接種スケジュールが複雑化していることを踏まえ、接種制度について十分な周知に努めるとともに、個別通知やホームページなどにより接種勧奨を行うこと、里帰りなどで県外において定期接種を受けた方への接種費用助成を行うこと、また、未接種者への効果的な接種勧奨を図るために、平成29年9月に予防接種台帳システムを稼働いたしておりますが、活用を努めてまいりたいと考えております。</p> <p>3、HIV・性感染症検査体制の相談・カウンセリングの充実については、引き続き、予約方法においてインターネットでの検査予約を実施します。また、増加傾向にあります梅毒の検査体制の強化も図ることとしております。NPO団体によるインターネットを活用した検査の普及啓発の促進、また担当者の相談技術の向上を図ることとしております。</p> <p>4の風しん抗体検査です。こちらは、国の風しんに対する追加的対策として、当市におきましても、去る3月15日から40代から50代男性を対象とした風しんの抗体検査及び予防接種を無料にて実施しており</p>

	<p>ますが、この制度については個別の通知ですとか、ホームページ等により十分な周知に努めていくこととしております。</p> <p>重点分野6に関する説明は以上です。</p>
健康福祉局 健康政策課長	<p>10 ページ。重点分野を支える社会環境の改善・整備です。市民の健康の保持、増進のためには、個人の取り組みはもちろん、健康づくりに取り組みやすい環境の改善・整備を各重点分野における健康づくりの推進を支える柱と位置づけております。これらの取り組みを推進するために、健康づくりに関する業務の所管課にとどまらず、事業が目指す本来の目的に加えて健康づくりにつながる取り組みを仙台市全体で推進してまいります。</p> <p>事業の例といたしまして、11 ページの下の囲みですが、市民局による自転車安全利用講習会における取り組み、交通局の地下鉄階段への消費カロリー表示のほか、12 ページにまいりまして、都市整備局の公共交通利用促進が健康づくりにつながる「せんだいスマート」、ストック活用型都市再生推進事業、建設局の「緑の活動団体」認定制度、コミュニティーガーデンづくり事業、経済局のヘルステック推進事業、ケアテック推進事業を挙げております。</p> <p>また、10 ページから 11 ページに重点分野ごとの健康づくりの社会環境整備について記載しておりますので、ご参照ください。</p> <p>以上、仙台市全体の取り組み概要でございます。</p>
寶澤委員長	<p>仙台市の事業について、令和元年度の重点的に取り組む事業等を中心にご説明いただきました。</p> <p>なお、各保健所支所で独自の取り組みなどがございましたら、保健福祉センター所長からお話いただきたいと思います。</p> <p>本日、以前ご報告いただきました常備菜レシピを配付しております。青葉区の所長さん、ご報告をいただいてもよろしいでしょうか。</p>
青葉区保健福祉センター所長	<p>今年度の青葉区保健福祉センターの取り組みをご説明いたします。</p> <p>事業の策定に当たってですが、青葉区は、専門学校や大学、日本語学校が多いという特徴がありますので、生活習慣病の予防やメンタルヘルスなど、若い世代の健康支援を継続する必要があると考えております。</p> <p>そこで、どの分野の取り組みにおきましても、地域の健康課題を把握して、若い世代のアプローチに組み込み、幼児期から思春期、学生までとつながりを持った事業展開の工夫をするということを計画を作成する際の視点として取り組んでおります。</p> <p>事業を展開する際には、健康課題の把握の段階から地域の支援者ですとか、関係機関との連携を強化しながら実施するといったこともあわせて意識して取り組んでまいりたいというふうに考えております。</p> <p>具体例としまして、本日は重点分野1、未来の健康をつくる生活習慣病予防における常備菜レシピ集をつくった啓発事業、これについてご紹介いたします。今年1月の協議会で、口頭でご紹介いたしました、2</p>

	<p>月に発行することができましたので、本日はA4のチラシと、常備菜レシピ集を配付させていただいたところです。</p> <p>チラシのとおり、野菜の摂取量が少ないといった健康課題を背景にしまして、野菜を中心とした副菜を常備化し、バランスのよい食事を確保することで生活習慣病の予防とその啓発を目的に、市民の方や中央市民センターの職員、それから保健福祉センターの関係課の職員とで実行委員会を立ち上げて、この実行委員会の方々との議論を経てつくったものです。実行委員会のメンバーの方は、このレシピ集の後ろの写真の方々です。</p> <p>レシピ集の作成に当たっては、手軽さ、アレンジ、それから老若男女をキーワードにして、材料や調味料の種類、調理の手順、手際よくできるなど、シンプルに作れるよう考えて検討を進めたところです。</p> <p>今年度の事業ですが、市民センターで開催します、例えば防災講座ですとか、そういったものとコラボしまして、防災の関係する方のミニ講話と、防災の時にでもこういった常備菜の調理とか試食、こういったものを取り入れて、講座としてやっていきたいというふうに考えております。それから、子育て中の親の方を対象としまして、実践的な講座もあわせて行いたいというふうに考えております。</p> <p>青葉区では、こちらの概要のとおり、重点分野2から6まで掲載している内容に力を入れて今年度取り組んでまいりたいと考えております。</p>
寶澤委員長	<p>どうもありがとうございます。すごくいいものができ上がっていると思います。実行委員の募集方法を聞いてみたいです。</p>
青葉区保健福祉センター所長	<p>我々の事業の中でご参加いただいている方の中でお声がけをして、特に公募ではなく、そういったものを取り組んでみたいという方々と一緒にこのレシピ集をつくったというふうに聞いております。</p>
寶澤委員長	<p>ありがとうございます。ほかの保健所支所の取り組みについて、健康政策課長、お願いいたします。</p>
保健福祉局健康政策課長	<p>令和元年度の各保健所支所の取り組みの中から、主な取り組みについてご紹介いたします。青葉区保健福祉センターは、紹介がありましたので、宮城野区の保健福祉センター、14ページからご説明いたします。</p> <p>幼児健康診査や特定健診等のデータ分析を行い、幼児・学童期から生活習慣病の予防に取り組みます。それから、受診率向上のために母子保健事業や復興公営住宅への事業を活用した健診、受診の普及啓発や、子育て支援施設、区内専門学校への周知啓発を図ります。</p> <p>15ページ。若林区保健福祉センターですが、昨年度実施した健康実態の分析から、六郷地区を対象に幼児期、学齢期とその保護者世帯にかかわる関係機関と課題を共有し、啓発を強化してまいります。子育て支援施設における食育、歯と口の健康づくり連携事業を拡大し、関連施設の職員が健康づくりの発信の担い手となる環境をつくります。</p> <p>16ページ、太白区保健福祉センターです。管内の児童館や大学との連</p>

	<p>携を図り、学齢期から生活習慣病予防、健康的な生活習慣形成のための啓発を継続します。健診結果を活用した生活習慣の改善や新規国保加入者への健康受診勧奨を行い、受診率向上に向けた取り組みを行います。</p> <p>17 ページ、泉区保健福祉センターです。高齢者の健康を保持するために、地域包括支援センターと連携し、生活習慣病の予防や重症化予防及び介護予防について一体的に取り組めます。また、こころの健康づくりとして、睡眠をテーマとした講演会を実施し、休養と生活習慣改善を啓発いたします。</p>
寶澤委員長	ありがとうございます。泉区の所長さんから何かございますか。
泉区保健福祉センター所長	<p>泉区は、平成 30 年 10 月 1 日現在、高齢化率が 25.6%、5 区中第 1 位で年々増加しています。特に 65 歳から 74 歳まで、前期高齢者の割合が高く、団塊の世代が 75 歳以上を迎える 2025 年には後期高齢者でも市内トップになることが予測されます。このため、高齢者の健康維持や介護予防の取り組みへの働きかけが必要だと考えております。</p> <p>また、国保加入者の特定健診受診率は 50%を超えてかなりいいのですが、40 代から 50 代、いわゆる働き盛り世代の受診率が 20%、30%と伸び悩んでおり、この年代の健診受診率向上を初めとする健康への意識づけが課題と考えております。</p> <p>昨年度は泉中央商業施設の健康づくりイベントの体力測定や健康クイズを取り入れ、地域での健康教育の機会を捉えて壮年期や高齢期の健康づくりについて啓発を強化しました。また、地域包括支援センターの意見交換会に、家庭健康課母子保健の参加や、障害高齢課職員が親子イベントに参加するなど、子どもから高齢者までの地域全体の課題についてセンター内で情報を共有する機会を設けました。それを踏まえまして、今年度は地域包括支援センターとの連携を強化し、地域の健康づくりや介護予防が一体的に行われるよう、特性を踏まえた働きかけに取り組んでまいります。</p> <p>特に、健康への関心が薄い壮年期には、商工会や理美容組合等との連携を図り、メタボリックシンドロームや糖尿病の予防を中心とした健康づくりへの働きかけを行います。また、特定健診の間診票から睡眠で十分休養がとれていないと回答した者の割合が年々増加しており、傾向として 40 歳代、50 歳代の働き盛りの世代において男女とも高く、約 3 人に 1 人が該当しております。かなり慢性的睡眠不足がうかがわれます。慢性的睡眠不足が続きますと、うつ病等の心の問題、生活習慣病のようになってくると言われております。この点を重視しまして、心身の健康づくりとして重要な睡眠に視点を置いた講演会を開催するなど、啓発にも取り組んでまいり、また、今後も継続できるように基盤整備していきたいと考えております。</p>
寶澤委員長	今年度の事業概要を事務局からご説明いただきました。これらの取り組みや関連して皆様からご意見、ご質問ございませんでしょうか。

	<p>最初に、私からは、今日の資料に各市民局、交通局といった各部局からの報告が、この資料に入ったということがすごく大きなことと思っ ていまして、プランの中に入れ込んだ環境づくりということが、市の他部 局の方々にも伝わっているということなのかと思って、すごく感心しな がら見させていただいたところでございます。</p>
赤坂委員	<p>感染症の予防についてですが、来年には東京オリンピックが開催され るということがありますし、インバウンドというところで、海外からも たくさん人が来ることが想定されるかとは思いますが。海外から来た方 が、例えば感染症にかかっている場合に対する対策とかという点につい ては何かお考え、直接この健康プランの後期計画にかかわるところでは ないかもしれませんが、こういったことが起こると影響も出てくるかな と懸念されるものですから、ご検討されていることがあれば教えていた だければと思います。</p>
健康福祉局 健康安全課長	<p>現在、蚊媒介感染症に関する啓発とか、そういったところはやってお りますが、その他、仙台市メディカル・ネットワークで情報共有をしま して、何かしら事があれば対策をとれるような体制をとっているところ でございます。蚊の媒介感染症の啓発は、5月の連休明けでテレビ局な どもよく来ており、帰国をした際に発熱等の症状を生じた場合には、医 療機関でその旨をお話いただくような啓発もしております。</p>
寶澤委員長	<p>ありがとうございます。 そのほか、委員の先生方、何かございますか。</p>
片倉委員	<p>若林区の保健福祉センターの中の、15 ページです。1 の事業計画策定 の（2）に、今年度事業計画策定の視点ということで、幼児期、学齢 期ということで、子供の肥満や成人の高血圧、高血糖ということで、六 郷地域において事業を展開するというところで、たまたま私ここにいらし た栄養士さんに、このように若林区を変えていきたいという夢を聞いて 、それを今年の2月栄養士会で発表していただきました。 その栄養士さんがいなくなり、その後、ちゃんと引き継いでいただい て、どんな事業展開になるのかなということがとても不安になりました ので、お聞かせいただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
若林区保健福 祉センター所 長	<p>昨年度健康課題の分析をしまして、区内でも六郷地区で健康格差がや はりあると。特に、被災地周辺での生活習慣病とか、やっぱり住民性が あるということで、今年センターとしては年度当初からプロジェクトチ ームをつくって対応していこうかと思っています。その中で、6月中に 健康づくり区民会議というのを開き、各団体の関係者の方々をお招きし て意見をこれから聞いていこうという状況でいます。 その中で、今年健康づくりの事業に関して、評価指標をつくらうと。 それが去年出席された会議では、やっぱりマイナスなものよりは、いわ ゆる住民のモチベーションを上げるようなものを作ったらどうかとい うことで、特に六郷地域の方々を、医師会を含めていろいろな方の意見</p>

	<p>を聞いて、今年は何をしようか、どのような目標にしていこうかとかを、今まさにつくろうとしているところではあります。特に、いわゆる健康指標、そういうポジティブな目標値もつくっていこうかと思っていますので、今月中にそれをやろうということを、今計画しているところです。</p>
寶澤委員長	<p>ほかに何かございますか。では、お願いします。</p>
安齋委員	<p>8 ページに、大切な人の健康を守るたばこ対策の推進ということで、推進の方策等を書いてくださっておりますが、先日、宮城県が出していますみやぎの健康だったか、データを整理したものがホームページ上で載っており、各市町村の順位ですとか、傾向などもわかるようなデータがまとめられていたのですが、仙台市は比較的データもいい結果が出ていて、やはり都心部というのは健康意識の高い人が多いのかなと思いつつ見ておりましたが、女性の喫煙率に関しては、何か対策が必要なのかなと思って拝見させていただいたのですが、2 番目に妊産婦というところに焦点を当てられて対策を練っていらっしゃるのですが、具体的にどういう年齢層の方に喫煙率が高いとか、それに焦点を当てて妊産婦ですとか、新生児訪問というところで効果が出るのではという予測をされて対策を立てられたのか。具体的に教えていただければと思います。</p>
健康福祉局 健康政策課長	<p>以前から母子手帳交付のときに妊婦への禁煙指導、それから出産後にお母さんが禁煙しているかを、確認する取り組みはしてございました。</p> <p>ただ、この年代に喫煙者が多いからということで始めたのかどうかというのは、手持ちの資料がなくてお答えできないんですが、そういった妊娠時から子育て期間中の女性の喫煙ということについては、取り組みにも入れているところでございました。</p> <p>計画のときの中間値ということで、平成 28 年度に妊婦の喫煙というところで 1.7% という数値が出てございます。</p>
寶澤委員長	<p>仙台市で妊婦さんということは、多分妊婦になる前からたばこを吸っていらっしゃる。妊婦になってから吸い始めることはないと思うので、妊婦になる前からほかのエリアと比べると高いということかもしれません。例えば成人式を使うなど、たばこに害があるみたいな、妊婦になる前の方々に対するキャンペーンみたいなことは、やっていたりするのとか、あるいはエリアの外でそういったことをやっているところがあるのとか、そういった情報ってお持ちですかね。</p>
健康福祉局 健康政策課長	<p>成人式のときに、たばこについての啓発ということで、うちの職員が出かけて行って、そこで啓発しております。</p>
寶澤委員長	<p>ありがとうございます。そのほか、よろしいですか。</p>
橋本委員	<p>来年度オリンピックがあって、オリンピックにたばこは要らないというキャンペーンをうちの学内でやっているのですが、オリンピックかけていろいろやっぱりたばこの意識を持ってもらい、それから多分運動することについてすごく関心を持たれる方がふえると思いますので、生活習慣病予防のために運動は欠かせませんので、そういうところを上手に</p>

	<p>キャンペーンしていただきたいなと思うのですね。健康づくりというと、オリンピックってどうしてもスポーツ推進課とか、そちらの話になると思いますが、ぜひ協力してオリンピックを上手にを使って健康づくりにもぜひ役立てていただけるように協力してやっていただけないかなというふうに思います。</p>
寶澤委員長	<p>ありがとうございます。他にいかがですか。</p>
及川委員	<p>質問ですが、4ページの3番のところで、健診受診率の向上を図るための啓発の中で、先ほどがん検診について胃カメラを実施するというような内容のご説明がございましたが、もしお時間があれば、この胃カメラの実施を市民の方にどのような形で実施をなさるか教えていただきたいです。</p>
健康福祉局 健康政策課長	<p>胃がん検診の内視鏡の検査です。今年度から50歳以上の方で偶数年齢の方、胃内視鏡検査にするのか、それとも今までのような胃部X線撮影でバリウムの検査をするのか選べるようになりまして、この検診は、毎年4月1日号の市政だよりに市民健診の申し込み案内ということで、冊子を入れて全戸に配布しております。その中で、胃カメラ、胃内視鏡検査についても説明をしています。</p> <p>おかげさまで、当初予想していたよりも多くの申し込みをいただいております。医師会や対がん協会等と連携しながら検診をこれから進めます。</p>
及川委員	<p>もし差し支えがなければ教えていただきたいのですが、内視鏡をご希望された方たちの検査の、先生方の受け入れ状況というのは100%希望にかなうような状況になるのでしょうか。</p>
健康福祉局 健康政策課長	<p>一応、医療機関数としては能力的には大丈夫だというふうに伺い調整しておりますが、もしかすると、地域的に申し込みの希望の方と、医療機関の数等の関係で少し混み合うところもあるかもしれませんが、今のところその人数を登録医療機関でさばける数というふうに思います。</p>
保角委員	<p>17ページで、予防という形になるかと思うのですが、6番に、不登校、ひきこもりへの支援の充実ということで、この予算額がどうなのか私はよくわかりませんが、学校の現状の情報交換等で、不登校が大きな課題でして、子供たちがいきいきと頑張れる学校が増えてきており、喫煙等で暴れて指導するという学校がほとんどなくなりつつあります。</p> <p>その分、自分と他の生徒を比較したときに、自分が勉強できないとか、人と自分はどう違うんだとか、母親とか父親が強過ぎるために、合わせられるような指導をずっと継続的にやってきた子供が、中学校に入学して不登校に至るとか、学校に入ると30何人いっぱいいるところ全てに気を遣い過ぎちゃって1日の生活もたないという、そのような生徒が非常に多くなっております。私の学校では支援室というのを設け、そこに29時間分の教員を割り当てして、いつでも来ていいですよという体制をとっているんですが、去年、適応指導センターから支援員の方を送っていただいたら、見事な指導を週2回だったのですが、施してくれまして、</p>

	<p>10人ほど支援室を使っていた子供のうち、現在までそのうちの7名ほど学級に戻れたというのが非常に大きくて、私の学校だけではなく、他の小・中学校でも支援室を設けて不登校の生徒の指導に当たっている学校たくさんあると思うのですが、そのような外部からの、関係機関からの支援をいただける制度をますます充実できるように、今後さらに予算の面でも配慮していただければありがたいなというご要望です。</p>
<p>子供未来局 参事兼総務課 長</p>	<p>子供未来局からお答えをいたします。</p> <p>冒頭説明した資料1の17ページに、その(1)の⑥、不登校・ひきこもりへの支援の充実、80万円弱のちよつと予算で、これは子供未来局の組織の中に子供相談支援センターというものを錦町の庁舎の中に、そういうセンターがございまして、そこで中高生中心に登校が難しいというお子さん、それで、やはり学校とか、教育委員会からちよつと離れたところに居場所ということで、何人かのお子さんが今通っていらっしゃるといいますか、居場所づくりの事業ということで進めております。</p> <p>いずれ適応指導センターはじめ、教育委員会とも連携を取りながら運営をしているところでございまして、そういった学校現場のニーズも含めて事業の工夫をしてまいりたいと思っています。</p>
保角委員	<p>ありがとうございます。よろしく願いいたします。</p>
寶澤委員長	<p>ありがとうございました。では、どうぞ。</p>
猪股委員	<p>猪股でございます。</p> <p>事前にいただきました資料1の中に、元年度の主要事業ということで、予算の編成が、内訳などが円グラフで紹介されております。6ページ、7ページ、仙台市の一般会計の予算案の内訳、その中の健康福祉費の内訳が7ページになっており、8ページ以降、主要事業ということで、非常に1つ1つの事業に細かく数字が書いてあるのですが、見るほうとしては、やはり数字がこのように並んでいると、先ほどの委員の意見のように、どこに力を入れているのかがちよつとわかりにくいので、円グラフでも棒グラフでも、そういったものがあれば、ああ、ここに一番力を入れているのだというのがわかりやすいかなと思いました。</p> <p>実際、先ほどの不登校に関しては、括弧書きに前年度の予算があつて、若干ではありますが、それよりも多くしているというのは、そういうひきこもりの需要がなくなるかわからないで、増加傾向にあるのがわかるわけですが、そういう資料の見方、見るほうの目から見ると、そのような工夫があるといいかなという意見です。</p> <p>それから、事前資料の2なのですが、仙台市の取り組みということで、これはプランの後期計画ということで書いてございまして、1つ1つの事業が全てはっきりと区分されるわけではないと思うんですが、これは主にここの子育て支援の部であるとか、これは高齢者であるとか、ちよつとそういった予算の振り分けみたいなのがわかるようになると、見るほうとしても見やすいかなというふうに思いました。</p>

寶澤委員長	よろしいでしょうか。じゃあ、どうぞ。
北村委員	5番のたばこの部分で、今、いわゆる加熱式たばこに大きく動き始めている。JTも将来の企業としてほぼ加熱式たばこに重点的に置いて展開していくという形になっております。そういうのを考えて、この加熱式たばこに対する対応というか、考え方、前出た当時は何か仙台市の場合ちょっとあやふやなところがあったのですが、これはどういうふうにお考えなのか。あるいは何か文言的にもう少し強く書いたほうがいいんじゃないかなとも思うんですが、いかがでしょうか。
健康福祉局 保健政策課長	加熱式たばこは、国の通知、それから今後の中では、指定たばこというふうにして分類されているかと思うのですが、その扱いは、若干紙巻きたばこは違う部分もありつつも、やはり喫煙所はちゃんと設けなさいよとか、そういった指示はあるわけですし、仙台市といたしましては、今のところ法改正に準じてその法の規定する中でどのように今後施設の中でそれを法に準じた取り組みをしていくかというところ、今まさに検討中でございまして、今後、その辺の検討を踏まえて調整はしていかなければいけないものと考えております。
寶澤委員長	続きまして、各関係団体の取り組みについて、本日ご出席の委員の皆様からご報告いただきたいと思えます。新規の取り組みなどを中心として1から2分程度でご紹介いただければと思えます。 資料2の18ページからとなります。まず青沼先生からお願いします。
青沼職務代理者	医師会の取り組みについてお話しいたします。 昨年とほぼ同じなのですが、新規のものとしては重点分野の2、後半ですね。また今年1月から開始された産婦健康診査、について、登録医療機関において産婦のこころとからだの健康状態をチェックし、心身の不調の早期発見、産後うつとか、そういうものに対して必要な支援をつなげていきたいということ。あと、先ほどお話しありました胃がん検診で内視鏡検診が始まるという、それは新しいところだと思います。
寶澤委員長	ありがとうございます。続きまして、駒形先生、お願いいたします。
駒形委員	19ページ、よろしくお願いたします。 重点分野、大体は昨年とほとんど変わらないのですが、重点分野3、重点分野4にある妊婦健診と、カリエスフリー85プロジェクト、そのほか歯周病健診等は成人健診事業がある程度できてきましたので、今回、カリエスフリー85プロジェクトが始まってから3年たちましたので、ちょうど始まったときのお子さんが3歳半健診を受診しましたので、平成30年度その評価を改めてやりました。このプロジェクトは非常に有効ですので、今後さらなる体制整備を図りたいと、今仙台市とやっているところでございます。 また、重点分野5ですが、先ほどたばこの話が出ましたが、たばこは全身的な健康に影響することもあるのですが、歯周病との関連もかなり問題視されていますので、仙台市や薬剤師会と連携しながら何かやって

	<p>いけないかなということで、昨年度ぐらいから始めております。</p> <p>また、何度かここで話ししましたフッ化物洗口のパイロット事業ですが、今教育委員会と学校を選びながら進めているところで、慎重に事を進めているところです。</p> <p>最後に、今週の土曜日に仙台歯科医師会のイベントで、宮城県歯科医師会館で「市民のつどい」というものが行われます。栄養士会や薬剤師会、ほかに仙台市教育委員会等のいろいろな団体に協力していただきながら実施します。大きいイベントですので、時間がある方はぜひ午後からやっていますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
寶澤委員長	ありがとうございます。薬剤師会、北村先生お願ひします。
北村委員	<p>薬剤師会の北村です。</p> <p>21 ページですが、今年度から新たに取り組むこととしては、重点分野の3の食のところで、高齢者のフレイル予防というところで、薬局でいろいろとそういうことがアドバイスできるような薬剤師を育成しようということで取り組んでおります。</p> <p>先ほど歯科医師会の駒形会長からお話がありましたとおり、歯科医師会とコラボして5番と4番をあわせて、いわゆるたばこ等からの歯周へというようなところの働きを歯科医師さんのご指導の中で少し考えていきたいなと思います。</p> <p>そして、重点分野2の、認知症の見守りネットワークについて、これは仙台市のネットワーク事業とコラボして我々も一緒に取り組んでいこうと考えております。そのほかの事業については、例年とほぼ同じのを少しずつレベルアップしながら取り組んでまいるところです。</p>
寶澤委員長	次に、健康保険協会の及川先生、お願ひします
及川委員	<p>22 ページのところ、掲載のとおりですが、各分野それぞれ進捗状況もかなり進んでおり、中でも、この重点分野4番の歯科に対する「歯の健康に関する出前講座」ですが、昨年度は加入事業所で余り手を挙げてくださらなかったのですが、今年度はもう既に3社ほどお申し込みがございまして、県の歯科医師会から講師の先生をお願ひして実施をさせていただくというようになってきております。</p> <p>それから、引き続き、仙台市とも受動喫煙防止の宣言をしてくださっている事業所ということで、現状では既に491事業所で780施設ほどが認定という形になっており、こちらを着実に増加をしているというところと、それから、健康づくりを自主的に事業所で進めていただく「職場健康づくり宣言」事業というところも、こちらについても現状で1,600事業所を超えまして、令和に入りまして既に48事業所が増加しているというところなんです。</p> <p>それから、お話が前後して申しわけございませんが、重点分野1番のところ、宮城県が開発したウォーキングアプリ、今回、資料にも拝見しているのですが、こちらをうちの加入者の方にお勧めして、できるだ</p>

	<p>け運動を推進していただくというようなところに力を入れていくというような計画になっております。</p>
寶澤委員長	<p>ありがとうございます。続きまして、片倉先生、お願いします。</p>
片倉委員	<p>栄養士会としては昨年と同じなのですが、市民の対象の内容、そして栄養士のスキルを磨くことで進めていきたいと思っています。</p> <p>重点分野2は、生涯教育研修会ということで、年々地域包括であったり、在宅栄養ケアであったり、さまざまな事業展開で新しいものが入ってきておりますので、研修の場を多くしております。</p> <p>重点分野3は、介護予防啓発事業、あと地域包括ケア体制研修会ということで、こちらも考えております。</p> <p>また、一番大きな栄養士会のイベントということで、この歯と口の健康という部分で、歯科医師会や歯科衛生士会の協力をいただいて、この辺の口腔ケアに力を入れております。</p> <p>それで、健康づくりを支える社会環境の改善、ここにちょっと書き漏れたのですが、実際地域包括ケアの在宅ケア会議ということで、各区役所での在宅ケア会議に栄養士会から1名ずつ栄養士が参画してケース会議をやっているという現状です。また、被災者支援事業ということで、南三陸における看護協会とコラボをしまして、被災者対象に栄養相談を行っております。</p> <p>プランの最終は、栄養士以外の他職種会議、委員会への参加をすることにより、住民な活動、事業については次年度の事業実施ということにつなげるということで、今年度は進めていくという考えでおります。</p>
寶澤委員長	<p>続きまして、レクリエーション協会、長谷先生、お願いします。</p>
長谷委員	<p>重点分野1としまして、老若男女、障害の有無にかかわらず、全ての方々が生活を楽しむための支援を行うということで、未来の健康づくりに関することを進めていきたいと思っております。</p> <p>重点分野2に関しまして、健康づくりに必要なことの提案といたしまして、勉強だったり、仕事だったり、介護、育児、障害があったりということで、社会的な拘束だったり、心身の疲労、ストレスがある皆さんを自分でケアする、セルフケアできるような環境をつくっていけるようなことを重点的に行っていきたいというふうに考えております。</p> <p>そのほか、健康づくりを支えるための社会環境として、多くのレクリエーションのニュース、いろんなものを発信していくわけですが、個別援助だったり、グループ支援だったり、コミュニティーの資源を活用したもの、それからイベントのプログラムの活用ということで、社会福祉の環境にもお手伝いできるようなレクリエーションの支援者の養成だったり、ボランティアの活動を拡大できるようなことも行っていきたいと思っております。パラリンピックであったり、それからオリンピックであったりということに関しまして、ボランティアの活動もできる方々を支援していけるようにということも考えております。</p>

	<p>それと、今年度全国レクリエーション大会を宮城県で開催いたします。9月13日から15日の3日間、宮城県内におきまして様々な活動が行われていきます。仙台市では勾当台公園で「遊びの広場」を担当しており、東口の東北福祉大学、サンプラザ、各体育施設におきまして、いろいろな発表だったり、体験だったりという交流が行われてまいりますので、そちらもぜひご支援いただければと思っております。</p>
寶澤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他の団体の取り組みについては、お手元の資料でご覧いただければと思います。</p> <p>これらの取り組みについて、また関連してご意見等ございますか。</p>
駒形委員	<p>先日、新聞を読んでいたところ、子どもや若者がゲームの依存症になっているとか、また薬物依存症とか、そういうようなのも社会的な問題になっていますので、ここにたばこがありますが、そのようなほかの依存症的なものというのも、今後こういう考えの中に入れていったらなと思ったところで、ただ、意見として受け取っていただきたいと思っております。</p>
寶澤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、続きまして、次の議事で、受動喫煙ガイドラインの改正について事務局よりご説明お願いいたします。</p>
健康福祉局 健康政策課長	<p>資料3をご覧ください。</p> <p>A4判の1枚物になります。受動喫煙防止対策についてです。健康増進法が平成30年4月に改正されまして、施設の区分によって受動喫煙防止対策をとることが義務づけられることになりました。令和元年7月1日に改正法が一部施行となることを受けまして、本市が平成26年3月に独自に策定いたしました「仙台市受動喫煙防止対策ガイドライン」と「市立施設等における受動喫煙防止のための基本方針の見直しの改正を行いたいと考えております。</p> <p>今回の改正法のポイントは、受動喫煙による健康影響が大きい子供や患者などに特に配慮しなければならないということで、こうした方々がた利用する施設や屋外について、受動喫煙対策を一層徹底するとされたところでございます。</p> <p>そのために、施設の類型や場所ごとに対策を実施することとなり、望まない受動喫煙をなくすという観点から、利用者や受動喫煙が他人に与える健康影響の程度に応じまして、禁煙措置や喫煙場所の特定を行うとともに、提示の義務づけがされることとなりました。</p> <p>また、国及び地方公共団体の責務といたしまして、望まない受動喫煙が生じないように、受動喫煙を防止するための措置を総合的かつ効果的に推進するよう努めることなどが示されました。</p> <p>2のガイドラインの改訂の方向性について、現在のガイドラインの基本的な考え方は継承し、法改正の趣旨や内容を踏まえた見直しを行います。また、基本方針については、求める対策がほぼ実施済みであること</p>

	<p>などから、廃止するものいたします。</p> <p>3の主な改訂内容ですが、主な見直し、中ほど、令和元年7月1日からは、医療機関や大学、行政機関の庁舎は原則敷地内禁煙となり、屋外喫煙場所を設ける場合には、国の基準を満たす必要があります。それ以外の多数の人が利用する施設は、令和2年4月1日より原則屋外禁煙となり、屋内に喫煙場所を設ける場合には、国の基準を満たす喫煙専門室などを設置する必要があります。</p> <p>仙台市は、これまで独自のガイドラインを策定して、受動喫煙防止対策を進め、第2期いきいき市民健康プラン後期計画においても、重点分野の1つとしてたばこ対策を推進してまいりました。これまで取り組んでまいりました受動喫煙防止対策について、今後も引き続き市民や事業者の皆様とともに一体となって受動喫煙防止対策を進めるべく、改正法の内容の周知啓発に努めてまいりたいと考えております。</p>
<p>寶澤委員長</p>	<p>それでは、この点について、皆様からご意見、ご質問等ございませんでしょうか。よろしいですか。</p> <p>（「言ってもらちあかないのではないですか」の声あり）</p> <p>言ってもらちがあかない。議事録に残します。すみません。</p> <p>それでは、もし何かございましたら、その後でも結構ですので、次の議事に移らせていただきます。</p> <p>令和元年度食品の安全性確保対策についてです。資料4に基づき、事務局よりご説明願います。</p>
<p>健康福祉局 生活衛生課長</p>	<p>生活衛生課の戸井田と申します。</p> <p>食品の安全性確保対策について、資料4に基づいて説明いたします。</p> <p>食品の安全性を確保するため、平成18年に策定いたしました「食品の安全性確保に関する基本方針」に基づき、毎年度「食品衛生監視指導計画」を策定し、総合的かつ計画的に事業を推進しています。</p> <p>今年度の主要な取り組みとしまして、5つの項目を掲げています。昨年度と大きく変わるところはありませんが、1点目のHACCPに沿った衛生管理の推進について、昨年6月に食品衛生法が改正になりまして、全ての食品事業者に対しまして、このHACCPに沿った衛生管理が制度化され、義務づけされたこととなります。</p> <p>そのため、さまざまな機会を捉えまして、事業者の方に法改正の内容を周知するとともに、導入に当たって講習会、あるいは個別相談等を受けまして助言指導を受けるという形で考えております。また、事業者団体であります公益社団法人仙台市食品衛生協会と連携いたしまして、さまざまなHACCP普及推進事業を行い、自主衛生管理の向上を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>続きまして、2、食肉及び牛や豚レバーなど、内蔵の生食や加熱不足による食中毒防止対策の強化です。具体的な対策ですが、生食用として販売・提供を禁止された牛のレバー、あるいは豚肉、規格基準が定めら</p>

	<p>れている生食用牛肉の取り扱いについて、営業施設への監視指導を徹底してまいります。</p> <p>また、最近鶏肉やジビエと称しまして、野生鳥獣の食肉を生で食べる、あるいは加熱不足で食べることにより食中毒リスクが非常に高まるので、食品事業者に対して、提供する際には十分加熱調理をしていただくこと、また、市民の皆様にも注意喚起を図りたいと考えております。</p> <p>3、ノロウイルスによる食中毒防止対策の強化でございます。食品事業者に対して、食品の適切な取り扱いや二次汚染防止対策の徹底を指導してまいります。特に、食品取扱者にノロウイルスに感染して症状が出ない、いわゆる不顕性感染者がいることを前提とした手洗いの徹底を含めた食中毒対策をしっかりと周知してまいります。また、市のホームページやパンフレット等のさまざまな媒体を活用しながら、市民に対する啓発を行います。</p> <p>また、4つ目、5つ目は、資料に記載のとおりでございます。</p> <p>ここで、5のリスクコミュニケーションの推進といたしまして、来週の土曜日、6月15日になりますが、勾当台公園市民広場の前で食肉まつりが開催されます。そこで、私ども生活衛生課でもブースを設けまして、具体的には手洗いチェッカーという簡易検査器を用いまして、正しい手洗いの実演を通した啓発活動等を行う予定でございます。お時間ある場合には、足を運んでいただければと思っております。</p>
<p>寶澤委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>食品の安全性確保について、事務局からご説明いただきましたが、皆様からご意見、ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、本日の議事は以上になりますが、言い残したことも含め、その他の項目、委員の皆様何かございますか。よろしいですか。</p>
<p>小田嶋委員</p>	<p>1点だけ確認させていただければと思います。川崎市のスクールバスを待っていた児童が20人殺傷されたという事件を受けて、東京の練馬の男性、元農林水産省の事務次官が家族を巻き込んでしまったという事件が発生しております。その中で、今までSOSを関係部局に発信をしていたという報道も耳にするところでございます。</p> <p>この事件があった後に、各保健福祉センターでは、こういった相談の傾向はどういう状況になっているのか。また、こういった相談が多分100人いれば100通りになると思うのですが、そのことについて、改めて何か話し合いが行われたのかというところを、確認をさせてください。</p> <p>そして、要望ですが、後期計画推進に係る事業計画の中で、保健福祉センターが重点分野2の気づく、つながる、支える心の健康づくりという項目を設けて記載されておりますが、非常に淡白で簡単な書き込みとなっております。多様にわたる相談内容を現場の担当部署、担当課では非常に丁寧に対応していただいているという認識です。その辺をもう少し市民の方にわかるように、もう1行ぐらいずつ丁寧に書き込んでほしい</p>

	いのではないかという思いでございます。これは意見です。
寶澤委員長	事務局から何かございますか。
青葉区保健福祉センター所長	特に統計をとって事件後の相談がどうなったというようなところまでは、まだやってはいませんが、確かにこういった大きな事件がありましたので、そのセンター内の課長会等で、情報は当然共有しながら、何ができるのかとか、そういったものを考えているところといった状況でございます。
寶澤委員長	そのほか。ありますか。
片倉委員	資料2の32ページの2、高齢期の健康を支える食生活の実践支援、それと、担当部局と内容と、それと34ページのその他の取り組みの在宅医療関係者への研修会ということで、ケアマネジャーさんに口腔ケアの重要性、そういうことの研修会の周知、とても素晴らしいなど、自分が実際登米市でかかわって、これぐらいやれているかなということですので参考になりましたので、実績を期待したいと思います。
寶澤委員長	そのほか。よろしいでしょうか。以上で議事を終了いたします。 皆様からさまざまなご意見をいただきありがとうございました。例によりまして、たくさんあるご意見全て反映するのは難しいとは思いますが、ぜひ参考するべきは参考にしていただいて、市民の健康を守っていただければというふうに思います。 それでは、事務局に進行を引き継ぎたいと思います。
進行	委員の皆様方、長時間にわたるご議論ありがとうございました。 以上をもちまして、令和元年度第1回仙台市地域保健・保健所運営協議会を閉会いたします。

令和 年 月 日

署名委員